

1. 会議の開催

- ① 理事会 4 回、評議員会 4 回を開催した。

2. 機関誌の発行

- ① 年齢および習熟度に合わせた『不二一般版』・『不二中高版』・『不二小学上級版』・『不二小学初級版』・『ぺんの力』を毎月発行、研究誌『書学』を継続発行した。

- ② 『不二』各誌の更なる充実を図り、伝統書道の研究と、その普及に貢献した。

《平成 28 年度各誌発行部数》

『不二一般版』	109,650 部
『不二中高版』	71,250 部
『不二小学上級版』	130,400 部
『不二小学初級版』	91,650 部
『ぺんの力』	44,750 部
『書学』	2,500 部
年間発行部数	450,200 部

3. 月例競書審査会の実施

- ① 会員の段級認定を行うため、毎月 1 回、日曜日に実施した。
- ② 昇格・昇段試験月には主任会議を開催し、審査方針や教室での指導のあり方等についての話し合いがもたれた。なお、昇格・昇段試験は、第 1 回平成 28 年 6 月、第 2 回 9 月、第 3 回 12 月、第 4 回平成 29 年 3 月に実施した。

4. 会友試験の実施

- ① 『不二一般版』第 60 回会友試験を平成 28 年 11 月に実施した。

・総受験者数 16 名	合格者	2 名
・合格者累計数		747 名

- ② 『ぺんの力』第 49 回会友試験を平成 28 年 11 月に実施した。

・総受験者数 3 名	合格者	1 名
・合格者累計数		215 名

5. 会員登録の実施

- ① 公認段級位制の確立の一環として『不二一般版』・『不二中高版』・『不二上級版』『ぺんの力』に於いてコンピュータによる段級管理を継続実施し、誌上およびインターネットによる結果発表を行った。

6. 表彰の実施

- ① 平成 28 年度優秀教場・教室長表彰式を平成 29 年 4 月 3 日（月）如水会館に於いて開催し、表彰状と新規優秀教場長および教室長には標札を新たに発行した。表彰対象者は 204 名。表彰式の後開催された懇親会では、石橋桂一理事長より、忠正公神道碑を例に挙げ、日下部鳴鶴が残した数多くの碑の意義について講義がなされた。
- ② 優秀会員表彰を各教場長、教室長の推薦のもと行った。表彰者は学生 348 名、一般 37 名、ペン字 15 名の計 400 名。

7. 検定試験の実施

① 第 56 回全国書道検定試験

《師範試験》 平成 28 年 5 月 22 日（日）実施

《司教・助教》 自宅試験（春）平成 28 年 5 月 21 日（土）～ 6 月 6 日（月）

自宅試験（秋）平成 28 年 10 月 22 日（土）～11 月 7 日（月）

- ・ 師範合格者 0 名
- ・ 司教合格者 12 名
- ・ 助教合格者 20 名（春 13 名、秋 7 名）
- ・ 合格者総数 32 名
- ・ その他に書学院師範合格者 93 名（書道）
- ・ 日本書道芸術専門学校師範免許状授与者 2 名
- ・ これまでの師範取得者累計 16,228 名

② 第 36 回全国ペン硬筆検定試験

《師範試験》 平成 28 年 5 月 22 日（日）実施

《司教・助教》 自宅試験（春）平成 28 年 5 月 21 日（土）～ 6 月 6 日（月）

自宅試験（秋）平成 28 年 10 月 22 日（土）～11 月 7 日（月）

- ・ 師範合格者 2 名
- ・ 司教合格者 1 名
- ・ 助教合格者 10 名（春 7 名、秋 3 名）
- ・ 合格者総数 13 名
- ・ その他に書学院師範合格者 18 名（ペン）
- ・ これまでの師範取得者累計 1,247 名

8. 文部科学省認定社会通信教育の実施

① 文部科学省認定講座

- ・「書道基礎科講座」「書道専攻科講座」「ペン習字基礎講座」「ペン習字教育講座」「篆刻入門講座」の5講座を継続開講した。

② 併設講座

- ・「速習ペン字講座」「写経入門講座」の2講座を継続開講した。

① 受講修了者表彰

- ・講座受講修了者の中で、成績優秀者を対象に文部科学大臣賞の授与を行った。
また、例年文部科学省の主催により開催されている文部科学大臣賞授賞式が平成29年4月20日、文部科学省東館3階講堂にて開催された。

*文部科学大臣賞受賞者 5名

② 生涯学習インストラクター

- ・生涯学習1級インストラクター4名、2級インストラクター10名を社会通信教育協会の人材バンクに登録。現在まで1級延べ281名、2級延べ586名を登録。

9. 指導者育成事業

① 全国（神田・大阪・川奈・岩手・新潟・九州）6ヶ所の書学院に於いて、継続開講した。

I期受講生数 915名 II期受講生数 888名 III期受講生数 876名

- ・ 受講生合計 2,679名

② 夏季講座・冬季講座の開講

- ・ 夏季講座を平成28年7月27日（水）より9月28日（水）に実施した。「昇段試験対策講座」「お盆写経」等23講座を全国各書学院にて実施。参加受講生は392名となった。
- ・ 冬季講座を平成28年11月4日（金）より平成29年2月5日（日）に実施した。参加受講生は223名となった。

③ 書学院卒業式を平成29年4月15日（土）如水会館に於いて挙行了した。

- ・ 平成28年度卒業生114名 うち師範取得者111名

10. 公募展の開催

(ア) 第38回全国公募千字文大会（共催 日本書道芸術専門学校）

- ① 会 場 日本書道芸術専門学校・東洋文化不二研修所
- ② 会 期 平成28年9月17日（土）～ 19日（月）
- ③ 授 賞 式 平成28年9月18日（日）
於 日本書道芸術専門学校および東洋文化不二研修所
- ④ 褒 賞 文部科学大臣賞、静岡県知事賞、伊東市長賞他
- ⑤ 総出品点数 9,907点

【毛筆・篆刻の部】 7,583点

特別賞45点 特選1,113点 優秀1,507点
秀作2,669点 佳作2,249点

【硬筆の部】 2,324点

特別賞25点 特選330点 優秀455点 秀作817点 佳作697

点

- ・ 本会発行の「不二一般版」・「ぺんの力」・「不二中高版」・「不二上級版」
「不二初級版」2016年10月号に於いて優秀作品を特集した。

(イ) 書初誌上展の実施

- ① 審査会 平成29年1月15日（日）
- ② 作品および成績発表 『不二』3月号誌上
- ③ 出品点数 6,276点
 - 【小学生の部】 4,092点
特選720点 金賞903点 銀賞1,234点 銅賞1,234点
 - 【中学生の部】 636点
特選128点 金賞141点 銀賞 93点 銅賞 174点
 - 【高校生の部】 173点
特選 36点 金賞 39点 銀賞 53点 銅賞 45点
 - 【一般の部】 1,230点
特選242点 金賞271点 銀賞 378点 銅賞 339点
 - 【ぺんの部】 145点
特選 44点 金賞 25点 銀賞 42点 銅賞 34点

(ウ) 第 66 回書道学会展

- ① 会 場 東京都美術館 地下展覧会室および 1 階展覧会室
- ② 会 期 平成 29 年 1 月 12 日 (木) ～ 17 日 (火)
- ③ 授 賞 式 平成 29 年 1 月 13 日 (金) 於 上野精養軒
- ④ 褒 賞
内閣総理大臣賞、文部科学大臣賞、中国大使賞、東京都知事賞他
- ⑤ 出品点数 6 7 4 点 (公募+役員)
- ⑥ 展示点数 6 4 1 点 (公募+役員)
- ⑦ 入場者数 6, 4 1 2 人

- ・ 本会発行の「不二一般版」・「書学」2017 年 2 月号に於いて役員、一般公募の優秀作品を特集した他、『墨』誌 244 号、新美術新聞 10 月号でも紹介された。

【第 1 会場】

- ・ 公募出品数 3 1 2 点
(第 1 部 1 1 9 点・第 2 部 1 5 1 点・第 3 部 2 3 点・第 4 部 1 1 点・第 5 部 8 点)
- ・ 展示点数 4 7 9 点 (公募 2 9 4 点+役員出品 1 8 5 点)
 - 1 公募展示点数 2 9 4 点
(第 1 部 1 1 4 点・第 2 部 1 3 9 点・第 3 部 2 2 点・第 4 部 1 1 点・第 5 部 8 点)
 - 1 役員出品点数 1 8 5 点
(本年度審査員 1 6 点・審査員 5 9 点・無鑑査 1 1 0 点)

【第 2 会場】

- ・ 公募出品数 1 7 0 点
(第 1 部 3 9 点・第 2 部 9 8 点・第 3 部 3 0 点・第 4 部 3 点)
- ・ 展示点数 1 6 2 点 (公募 1 6 2 点)
 - 1 公募展示点数 1 6 2 点
(第 1 部 3 7 点・第 2 部 9 3 点・第 3 部 2 9 点・第 4 部 3 点)

(エ) 第 66 回全日本学生書道展

- ① 会 場 東京都美術館
- ② 会 期 平成 29 年 1 月 12 日 (木) ～ 17 日 (火)
- ③ 授 賞 式 平成 29 年 1 月 13 日 (金) 於 上野精養軒
- ④ 褒 賞 文部科学大臣賞、中国大使館賞、東京都知事賞他
- ⑤ 出品点数 3, 184 点
(内小学生 1, 753 点 + 中高生 1, 431 点)
- ⑥ 展示点数 2, 486 点
(内小学生 1, 347 点 + 中高生 1, 113 点 + 中国からの賛助作品 26 点)
- ⑦ 入場者数 6, 412 人

- ・ 日中の書道振興と友好に寄与するため中国大使館文化部より要請を受け、中国北京市の小学校より 26 点の賛助作品を展示し、参加賞として出品された作品と共に表彰状を贈った。また、本会発行の「不二中高版」・「不二上級版」・「不二初級版」2017 年 1 月号に於いて優秀作品を特集した。

(オ) 第 30 回不二現代書展

- ① 会 場 大阪市立美術館
- ② 会 期 平成 29 年 3 月 15 日 (水) ～ 20 日 (日)
- ③ 授 賞 式 平成 29 年 3 月 15 日 (水) 於 リーガロイヤルホテル
- ④ 褒 賞 文部科学大臣賞、大阪府知事賞、大阪市長賞他
- ⑤ 出品点数 357 点
 - ・ 公募出品数 257 点 (第 1 部 188 点・第 2 部 69 点)
 - ・ 役員出品点数 99 点 (本年度審査員 15 点・審査員 59 点・無鑑査 25 点)
 - ・ 役員賛助作品 1 点
- ⑥ 展示点数 343 点
 - ・ 公募出品数 237 点 (第 1 部 176 点・第 2 部 61 点)
 - ・ 役員出品点数 99 点 (本年度審査員 15 点・審査員 59 点・無鑑査 25 点)
 - ・ 役員賛助作品 1 点
- ⑦ 入場者数 1, 021 人

- ・ 「不二一般版」・「書学」、2017 年 4 月号に於いて優秀作品と共に特集した。

11. 写経塔・筆塚供養祭の開催

① 写経塔・筆塚供養祭の開催

・平成 28 年 10 月 2 日（日）に東洋文化不二研修所に於いて供養祭を実施した。

② 平成 29 年 3 月 31 日現在 納経巻数 1,474,366 巻

③ 百五十萬巻達成への準備委員会開催

二百萬巻成就への一つの区切りとなる、百五十萬巻の達成が目前に迫り、全国の二百萬巻推進委員会の皆様にお集まりいただき、百五十萬巻への準備委員会が開かれ、今後の写経推進活動について協議を行った。

12. 書道教育推進事業

① 日本書道藝術専門学校校長の主導により、推進されてきた「書道教育特区」は、その教育成果、実績が認められ、平成 21 年度より「書道科書道」の授業が全国展開されるに至った。本会でも全国展開に向けて引き続き静岡県内小学校 14 校と東京都新宿区の小学校 1 校への講師の派遣支援を行った。

② 「書道科書道」の指導者を養成すべく、神田書学院にて 22 年度より引き続き夏季講座にて「書道科書道指導者養成講座」を開講、28 年度まで延べ 114 名が受講し、累計 20 名が修了した。

③ 平成 32 年度の小学校新指導要領改訂時に向け、愛甲次郎先生（元クウエイト大使 文語の苑理事長）の主催する「国語教育問題懇談会」に参加し、学年別漢字配当表の 1,006 字増加問題について文部科学省へ提言を行った。その結果、学年別漢字配当表に都道府県名に関わる漢字 20 字の増加となった。

13. 新和様・漢字造型書作家協会の活動

① 会報 32 号の発行

・協会の各事業の報告および第 28 回色紙展の全作品を収録し、会員に配布した。

② 第 28 回新和様・漢字造型書作家協会色紙展の開催

・平成 28 年 9 月 2 日（金）より 4 日（日）まで、神田書学院に於いて

開催

・色紙作品 152 点を展示

③ 第 22 回新和様・漢字造型書作家協会選抜展の開催

・平成 28 年 9 月 19 日（月・祝）より 22 日（木・祝）まで、東京芸術劇場に於いて開催

・新和様作品または漢字造型作品 87 点を展示

新和様・漢字造型書作家協会会員が日頃研究を行っている
新和様書と漢字造型書への研究成果を発表した。

14. 第9回「漢字造型」と「傳統の寫經」展

- ① 会期 平成28年9月20日(火)～25日(日)
- ② 会場 東京鳩居堂画廊
・「書学」2016年10月号に於いて特集した。

15. 伊豆川奈東洋文化不二研修所

- ① 全国の会員及び書道学習者、日本書道芸術専門学校生徒、書学院受講生を対象として、宿泊研修の場を提供し、作品制作指導、資料の鑑賞・写經の実践を行った。
- ② 老朽化した施設内の全面的な改修工事を行い、引き続き次年度以降も施設内の管理体制強化を行う。

16. 講習会・書道展の後援協力

- ① 全国の書道展・講習会に後援協力した。本年度後援件数 18件

17. 石橋犀水遺業顕彰活動

- ① 創設者石橋犀水前会長の遺志を受け継ぎ、伝統書道の継承者作品カレンダーとして、石橋智子評議員長監修の下、本年は石橋犀水前会長の作品と共に、石橋鯉城先生、池田龍仙先生、小久保嶺石先生、草苺北望先生の作品を特別紙に印刷した本格的アートカレンダーを刊行した。
- ② 不二研修所に保管してある石橋犀水前会長の作品を整理し、書道文化館(犀水記念室を含む)設立のための準備、調査を行った。

18. 熊本・大分地震復興祈願活動

熊本・大分地震の被害からの一日も早い復興を祈願し、不二誌を通して会員に呼びかけ、以下の取り組みを行った。

① 熊本・大分地震復興祈願写經活動

平成28年5月から平成28年10月までの半年間、本会に納められた納経料(1口500円 口数は任意)すべてを義援金として熊本、大分両県に寄付することとした。

全国会員より納められた納経は8,326巻、志納金および納経料の総額は、4,856,000円となった。

② 熊本・大分地震チャリティー作品展の開催

新和様・漢字造造型書作家協会色紙展および、第 22 回新和様・漢字造造型書作家協会選抜展をチャリティー作品展として開催し、展示作品を入札形式で希望者に頒布することとした。両展の頒布金 322,000 円を熊本、大分両県に義援金として寄付し、復興事業の一環とした。

③ 石橋鯉城八十寿展 作品頒布

平成 28 年 8 月に開催された「石橋鯉城八十寿展」において展示された作品が頒布され、その頒布金 440,000 円を熊本、大分両県に義援金として寄付し、復興事業の一環とした。

義援金は両県の東京事務所にて本会理事長より贈呈を行った。義援金の総額については、毎月不二誌上で発表をし、贈呈の様子は平成 29 年 2 月号に掲載をした。